

TOTO

洗面器用洗髪機能付シングルレバー混合栓施工説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。
 この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

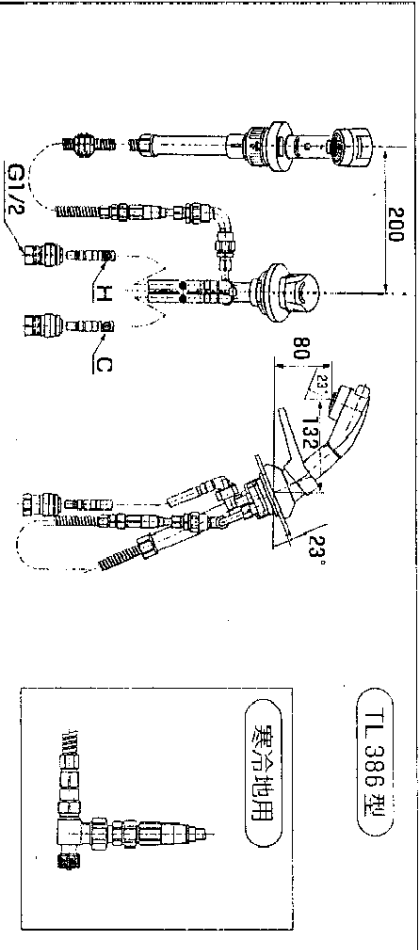
△注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があります。

△注意

- (1) 湯水を逆に配管しないでください。
 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
- (2) 凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。
 凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



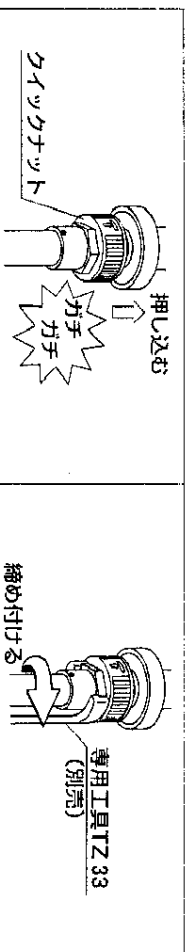
付属部品明細

名 称	数 量
保証書	1冊
取扱説明書	1冊
ストッパー	1個

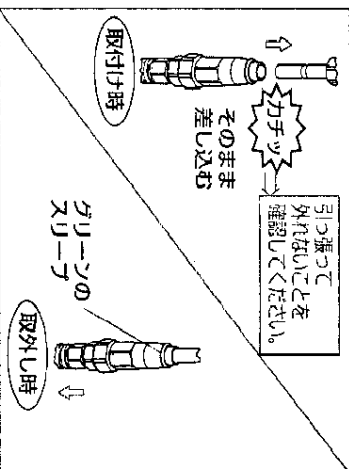
取 付 け 前 に

より簡単に施工していただくために、本商品は、クイックナット、ホース接続ワンタッチソケットを採用しています。

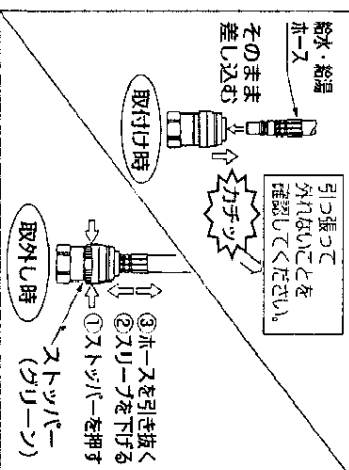
ク イ ッ ク ナ ッ ト



ホース接続ワンタッチカラ-



ワンタッチソケット



使用条件

1. 使用水圧

(1) 瞬間型給湯機と組み合わせる場合

器具入口部における最低必要水圧 (MPa) (下表参照)
給水水圧 | 最高水圧 | 0.75 MPa

給湯機タイプと号数		最低必要水圧
能力手動切替タイプ	12号	A+0.55
TOTOカスタム 制御方式	10号・18号	0.12
	20号	
TOTOトリコン 制御方式 (トリコン・コンタクト ・アクティイ ・アパー・アクティイ)	16号・20号	0.1
	24号	
	アクティイ	
	アパー・アクティイ	
TOTOハイトリコン 制御方式	21号・24号	0.1
	16号	
TOTO コアソッド	24号	0.09
	21号・24号	
TOTOハイコアソッド	21号・24号	0.08

<設定条件>

- リバーバルは全開
- 吐水はソフト吐水
- 吐水温度：38℃
- 給湯配管長さ：5m
- 給湯機が着火する下限の圧力とする。
- 水温の高い (25℃) 夏期に着火させることを想定。
- 能力手動切替タイプの出湯温度は最高温度に設定。
- 比例制御タイプの出湯温度：60℃

(注) 表中のAは給湯機の最低作動水圧を示します。

(比例制御タイプにはこの数値が含まれています。)

※能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替える
と着火しやすくなります。

(2) 貯湯式温水器と組み合わせる場合

給水・給湯水圧 | 最低必要水圧 | 0.05 MPa
| 最高水圧 | 0.75 MPa

(3) 給水・給湯水圧はできるだけ同圧になるようにしてください。

2. 給湯温度

(1) 給湯に蒸気を使用しないでください。

(2) 給湯温度は最高 85℃までお使いください。

(3) 電気温水器で使用する時は、給湯温度を 85℃以下に調節してください。
85℃以上でご利用になると、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、漏水のため家財に損害を与えるおそれがあります。

3. 湯・水を逆配管しないでください。

給水ホース又は③ラベルを、給湯ホースには④ラベルを貼り付けています。
なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

4. 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず別途止水栓をご用意ください。

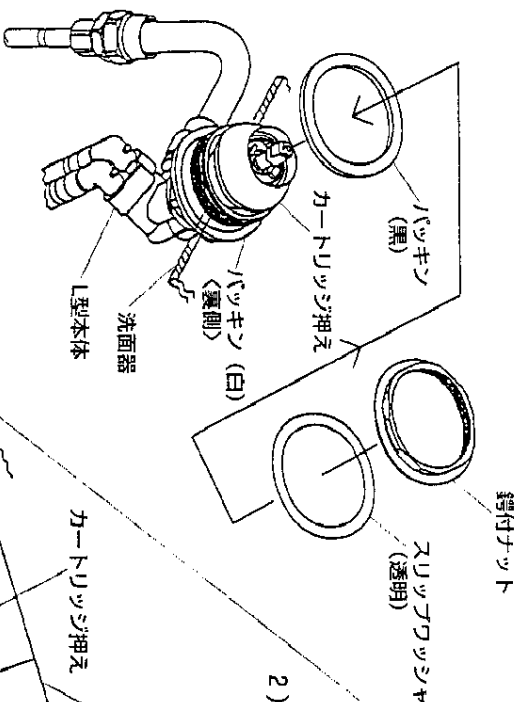
器具の取付け

1. 給水管内の清掃

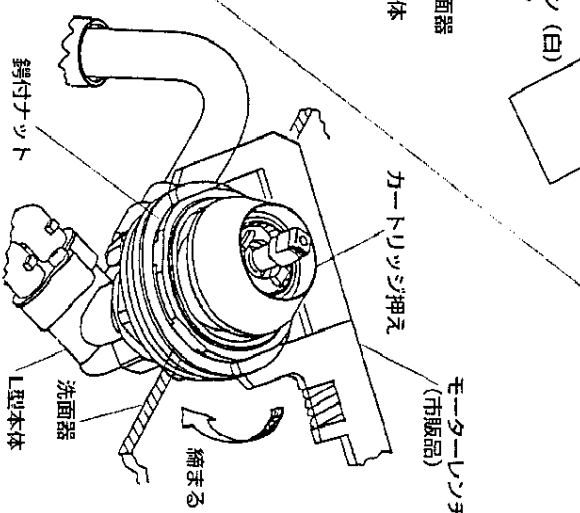
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

2. 本体の取付け

1) 本体の位置合わせ



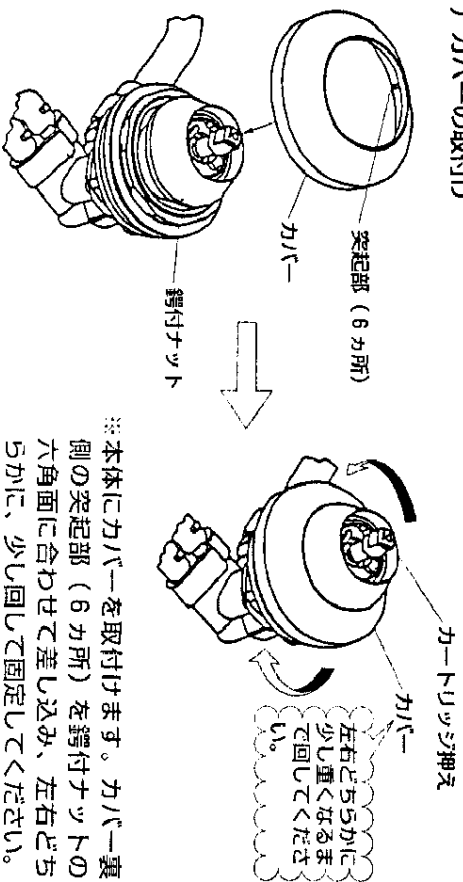
2) 本体の固定



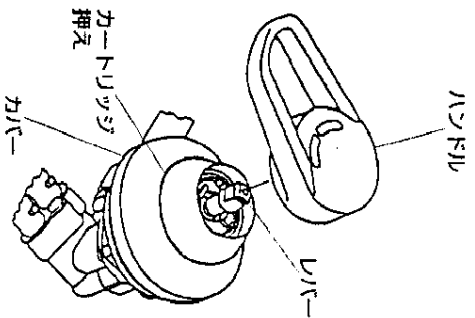
※L型本体をパネル裏側より挿入しL型本体のL部分が手前に来るようにする。

※共回りに注意して締め付けてください。

3) カバーの取付け

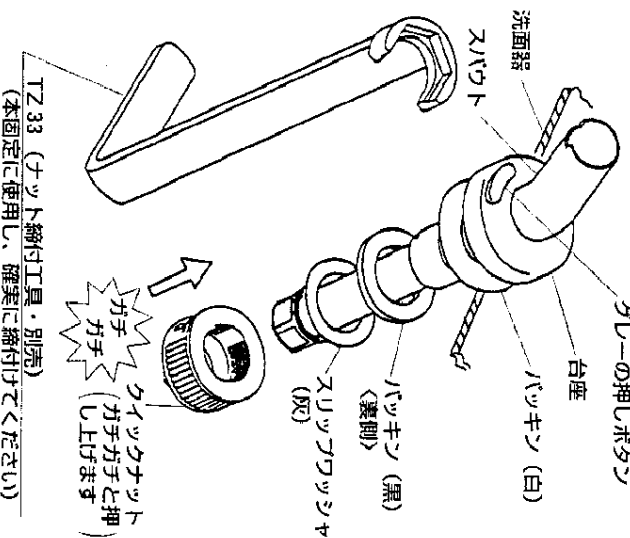


4) ハンドルの取付け



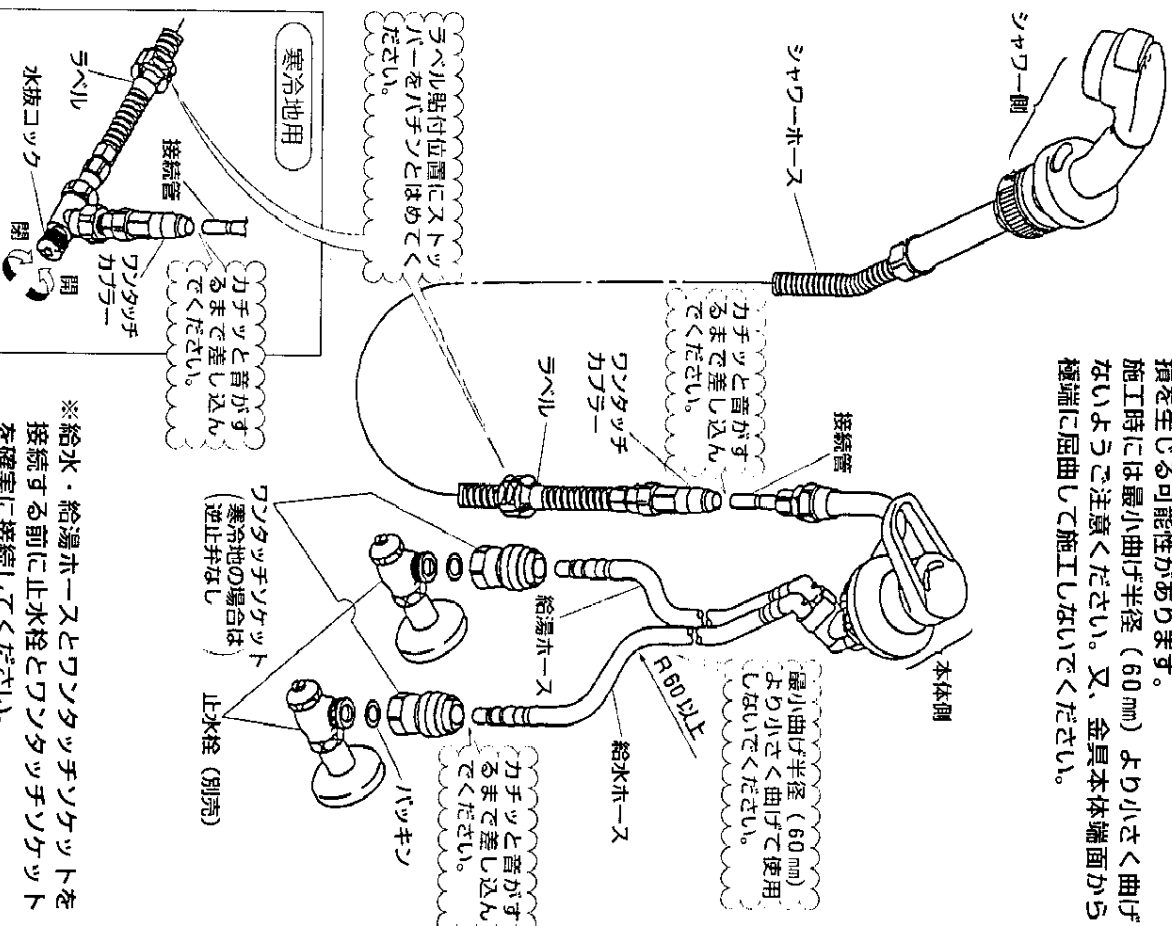
3. ハンドルシヤワー支持部の取付け

※グリーの押しボタンが圧面になるように位置決めしてください。



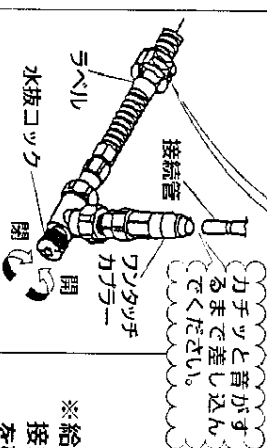
4. シヤワーホースの取付け、ワットタッチソケット及び給水・給湯ホースの接続 他

※給水・給湯ホースは最小曲げ半径 (60 mm) より小さく曲げて使用しないでください。折れて早期破壊を生じる可能性があります。施工時には最小曲げ半径 (60 mm) より小さく曲げないようご注意ください。又、金具本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。



※給水・給湯ホースとワットタッチソケットを接続する前に止水栓とワットタッチソケットを確実に接続してください。

寒冷地用

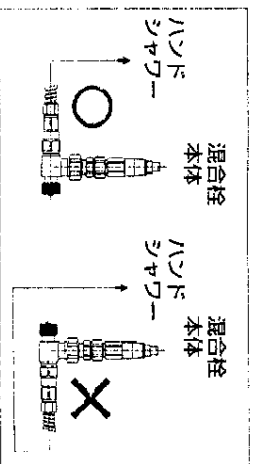


寒冷地用水抜き方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜き栓の操作と合わせて次の要領で水抜きをしておいてください。またお客様にも水抜き方法をご指導ください。

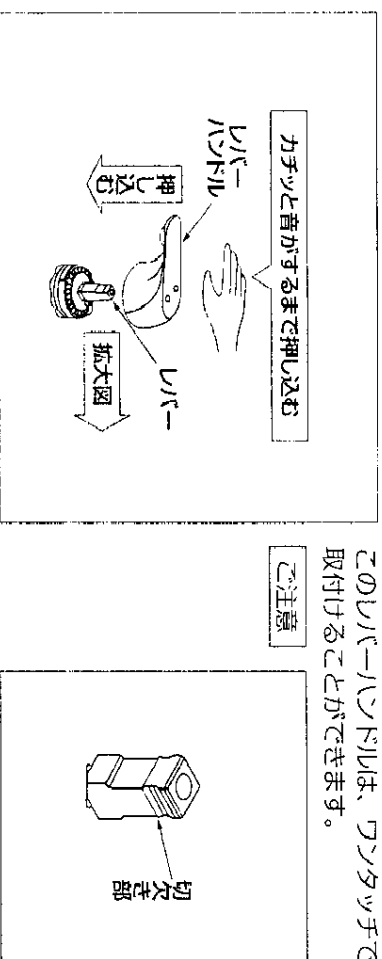
- ①レバーハンドルを中央位置（湯側・水側の中間）で上げてください。
- ②ホース途中の水抜コックを開いてください。
- ③スリーブを上を引き上げ、ホース内の水を抜き、さらにハンドシャワーを振って中の水を抜いてください。

寒冷地用の場合は、シャワーホースの水抜コックの取付け方向に注意してください。また、水抜コックにシャワーホースを締付けた後、ワツツチカブラーをホース接続管に挿入してください。



レバーハンドルの取付要領

このレバーハンドルは、ワツツチで取付けることができます。



レバーハンドルとレバーの切れさとの方向性に注意してください。

正面からみてレバーの切れさは、両サイドにあります。

一方方向をまちがえて取付けた時は、ハンドルを一度引抜いて方向を合わせて再度押し込んでください。

最後に、レバーハンドルが容易に抜けないうえを点検してください。

再生紙を使用しています。

使用上の注意

この商品は、ウオーターハンナー低減機構を採用しております。

レバーハンドルを速く操作しようとする時、抵抗感が発生し重く感じることがあります。故障ではありません。

万一、レバーハンドルがロックして、水が止まらなくなった場合は、一度全開にして、再度ゆっくり閉めてください。

お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、又快適にお使いいただけるようお客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. ふだんは柔らかい布でふいてください。
2. スムーズな昇降動作を行うために、定期的には支持管を柔らかい布でふいてください。
3. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。又支柱部に油、オイル等は絶対につけないでください。
4. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

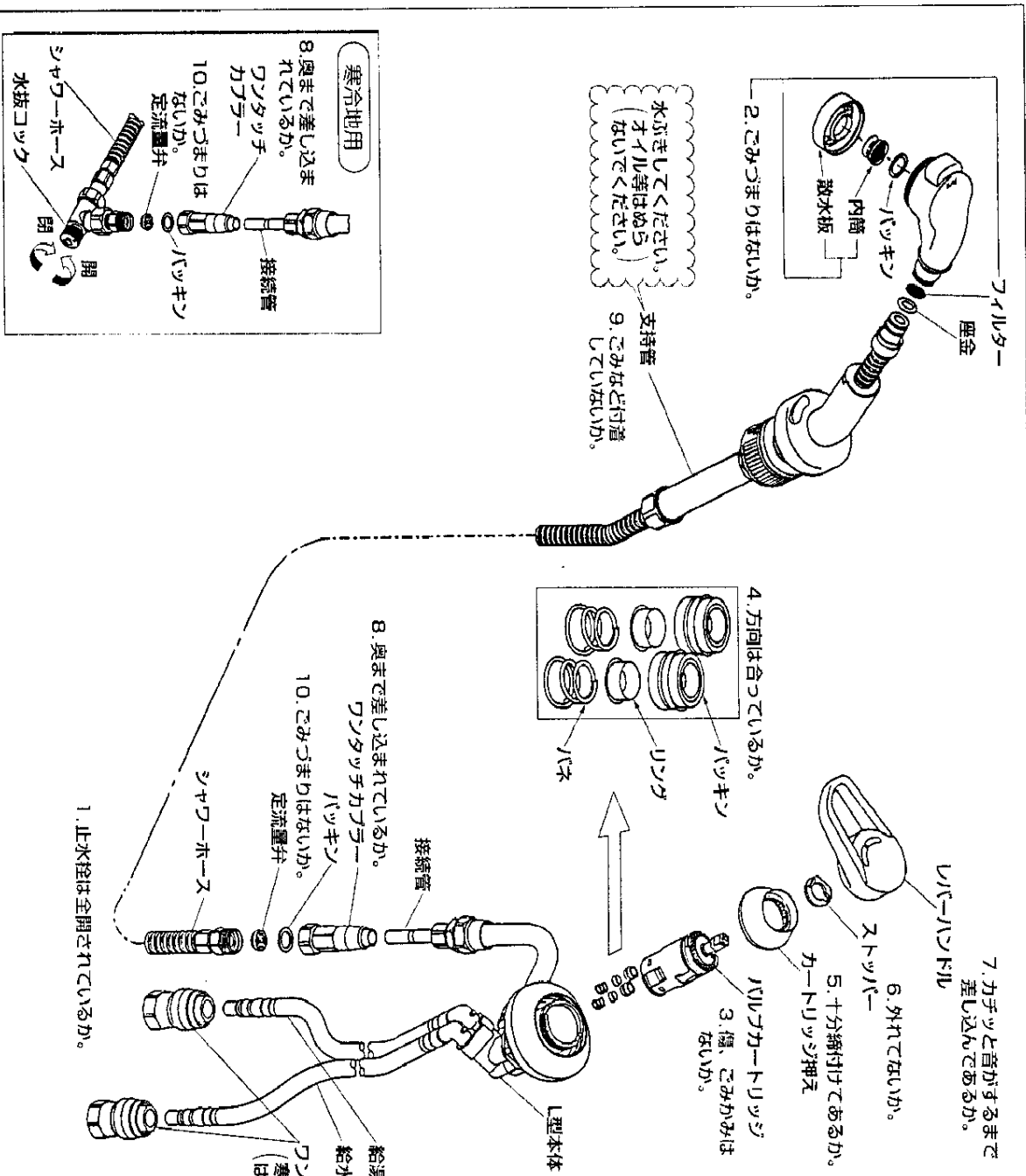
※ 「分解と点検」は裏面をご参照ください。

※ 同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

手渡しできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。

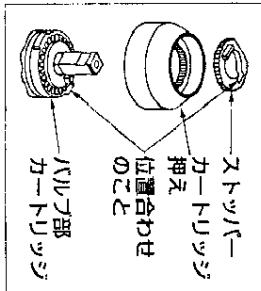
分解と点検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行ってください。



ご注意
トリガークン内部は精密加工された特殊セラミックノズルを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

点検時の注意
カートリッジ押えは、手締めにて締め付け、工具は使用しないでください。
再セットされる際に、ストッパーを組込む時は、カートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押込むこと。その際カートリッジ押えの内側の歯とストッパーの外側の歯が合わない時は、カートリッジ押えを締め込む方向にて歯を合わせるように調整してください。



(別売)
締付専用工具 (TZ33)

故障と現象	その点検箇所
吐水量が少ない	点検項目 1・2・10
水が止まらない	3・4・5・6
吐水温度不良	1・2
ハンドルがガタつく	7
通水時、床がぬれる	8
昇降がスムーズでない	9

